

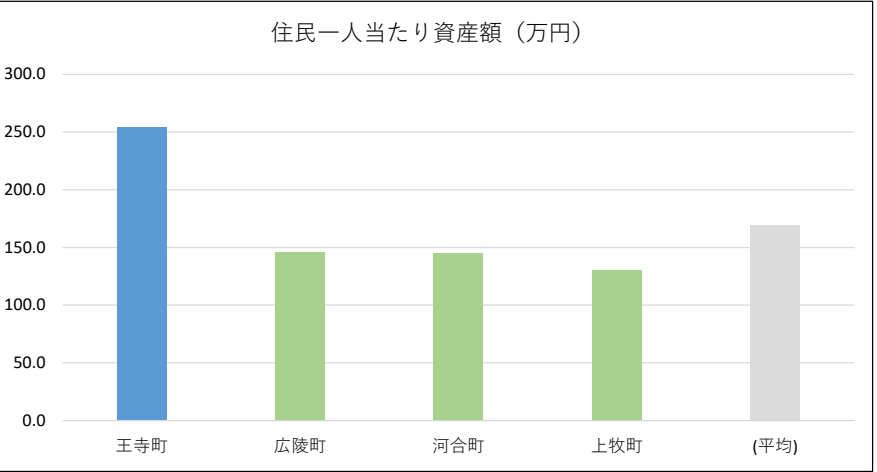
他団体比較(北葛城郡)

- ・総務省公表の令和3年度統一的な基準による財務書類に関する情報(各種指標)の数値を利用。
- ・王寺町と同じ奈良県北葛城郡の団体を対象とする。

1. 資産の状況

①住民一人当たり資産額(万円)

	王寺町	広陵町	河合町	上牧町	(平均)
資産合計(万円)	6,150,727	5,149,495	2,509,264	2,859,752	
人口(人)	24,183	35,204	17,277	21,910	
当該値(万円)	254.3	146.3	145.2	130.5	169.1



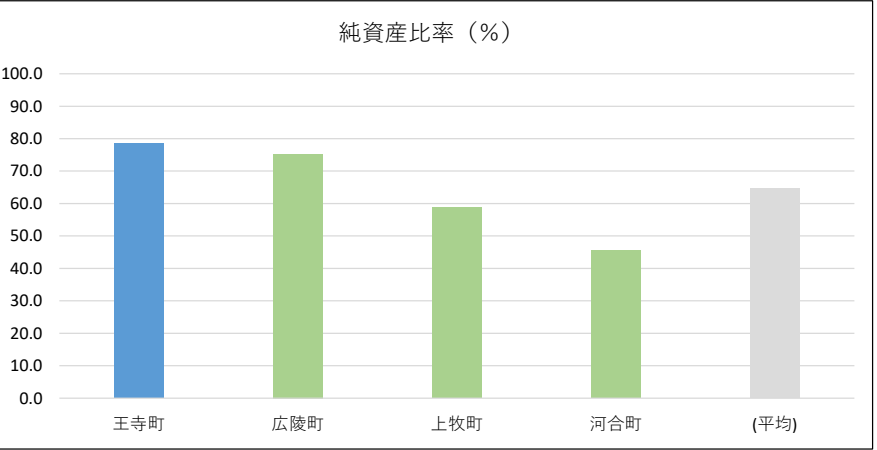
地方公共団体の保有する資産の合計額を人口で除して、住民一人当たりの資産額を表す指標。

一概に高い方が良いとは言えない指標である。資産の構成を見る必要がある。地方公共団体の場合、総資産のおよそ8割が施設やインフラ資産等の固定資産が占めていると言える。これらの資産を維持しながら保有するためには、当然ながら更新費用が必要なため、適正な施設保有量であるか否かは考える必要がある。

2. 資産と負債の比率

④純資産比率(%)

	王寺町	広陵町	上牧町	河合町	(平均)
純資産(百万円)	48,284	38,788	16,818	11,433	
資産合計(百万円)	61,507	51,495	28,598	25,093	
当該値(%)	78.5	75.3	58.8	45.6	64.6

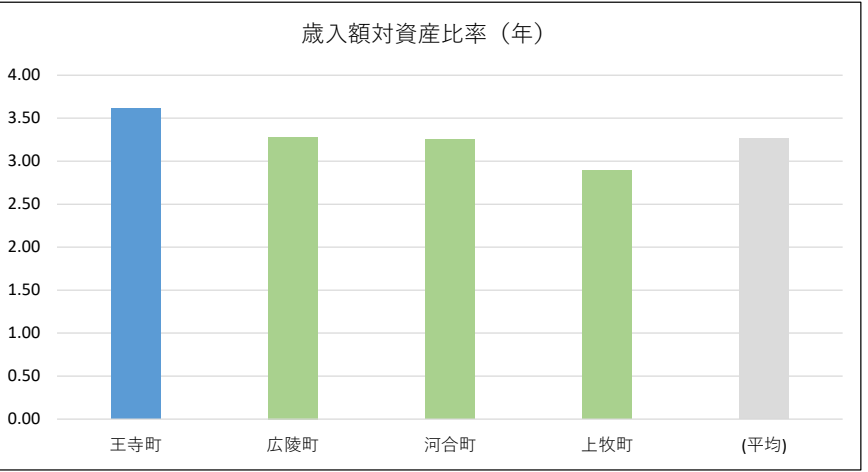


資産のストック情報(資産額)に対する純資産の比率を算出し、保有している有形固定資産等がどの世代の負担により行われたかを表す指標。

基本的に高い方が良い指標である。純資産は過去世代の積み上げ数値となっているため、本指標が高い場合は良い財政を行ってきた結果と言える。多くの団体で、人口の減少が見込まれ税収減が想定されているので、高い水準を保つべきである。

②歳入額対資産比率(年)

	王寺町	広陵町	河合町	上牧町	(平均)
資産合計(百万円)	61,507	51,495	25,093	28,598	
歳入総額(百万円)	17,049	15,712	7,725	9,892	
当該値(年)	3.61	3.28	3.25	2.89	3.26



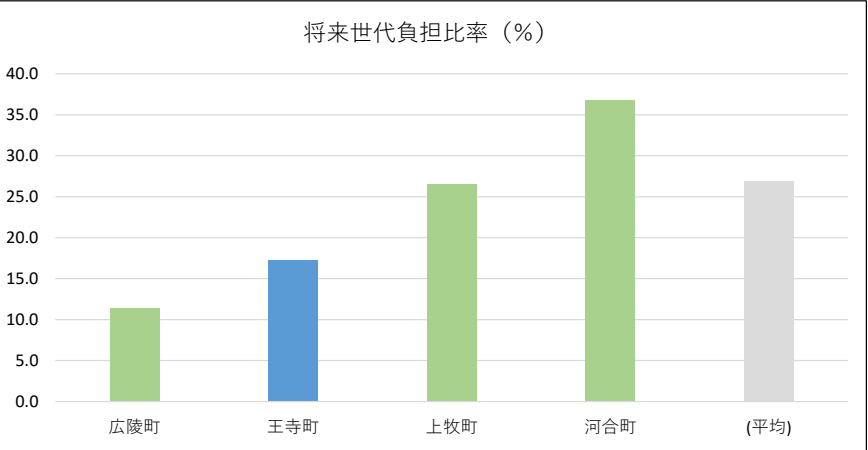
当該年度の歳入総額に対する資産合計の比率を算出し、これまでに形成されたストックとしての資産が、歳入の何年分に相当するかを表す指標。

本指標は「社会資本整備の度合いを示しているため、この比率が高いほど社会資本整備が進んでいると考えられる。」と一般的に定義されている。しかし、一概に高い方が良いとは言えない指標である。資産構成を見たうえで平均値に近い値が一つの目標と言える。歳入規模に対して過度の社会資本整備を行っている場合は、今後の維持負担が大きくなり将来の財政を逼迫する可能性があるので注意が必要である。

⑤将来世代負担比率(%)

	広陵町	王寺町	上牧町	河合町	(平均)
地方債残高(百万円) ※1	5,340	8,496	6,972	8,674	
有形・無形固定資産合計(百万円)	46,913	49,127	26,300	23,597	
当該値(%)	11.4	17.3	26.5	36.8	26.9

※1 特例地方債の残高を控除した後の額



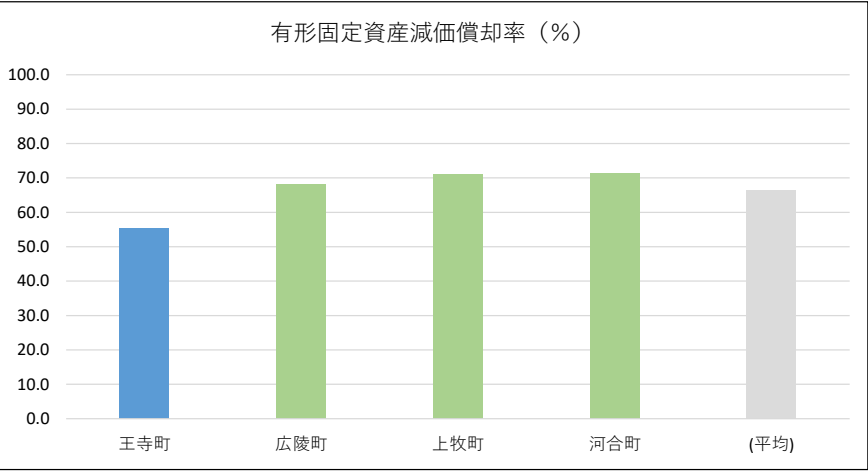
有形固定資産などの社会資本等に対して、財源のうち 将来の 償還等が必要な負債による調達割合を算出し、社会資本等形成に係る将来世代の負担の程度を 表す指標。

世代間公平性の観点からも考えることも可能だが、多くの団体で、人口の減少が見込まれ税収減となると思われるので、当該値は低いほうが好ましい。

③有形固定資産減価償却率(%)

	王寺町	広陵町	上牧町	河合町	(平均)
減価償却累計額(百万円)	26,284	27,240	28,099	20,924	
有形固定資産(百万円) ※1	47,564	39,889	39,602	29,333	
当該値(%)	55.3	68.3	71.0	71.3	66.5

※1 有形固定資産合計－土地等の非償却資産＋減価償却累計額



地方公共団体が保有する有形固定資産のうち、償却資産の取得価格等に対する減価償却累計額の比率を算出し、資産の耐用年数に対して、資産の取得からどの程度経過しているかを表す指標。

基本的に低い方が良い指標である。本町は他団体と比べて1番低い数値となっている。本指標は、庁舎や学校等の建替えや大規模改修が実施出来ていない団体の場合に高くなる。適正な施設保有量を把握し、施設の統廃合等を進めていく必要がある。

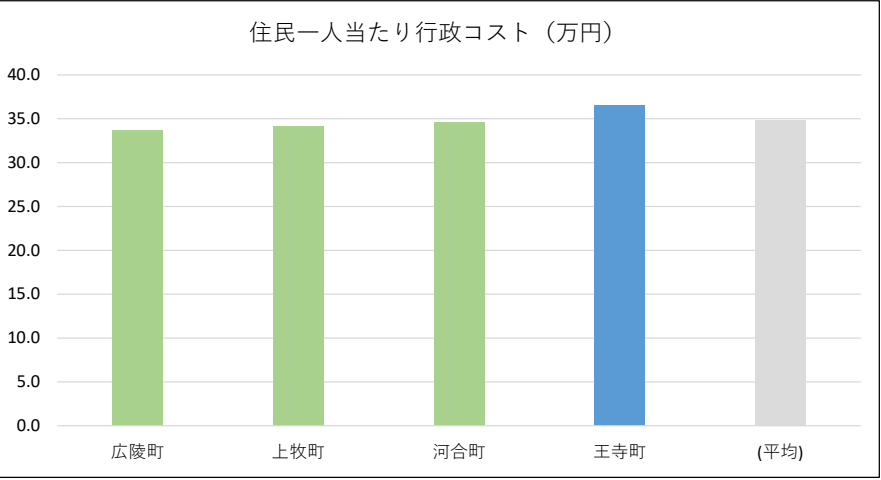
他団体比較(北葛城郡)

- ・総務省公表の令和3年度統一的な基準による財務書類に関する情報(各種指標)の数値を利用。
- ・王寺町と同じ奈良県北葛城郡の団体を対象とする。

3. 行政コストの状況

⑥住民一人当たり行政コスト(万円)

	広陵町	上牧町	河合町	王寺町	(平均)
純行政コスト(万円)	1,187,714	749,059	597,347	883,980	
人口(人)	35,204	21,910	17,277	24,183	
当該値(万円)	33.7	34.2	34.6	36.6	34.8



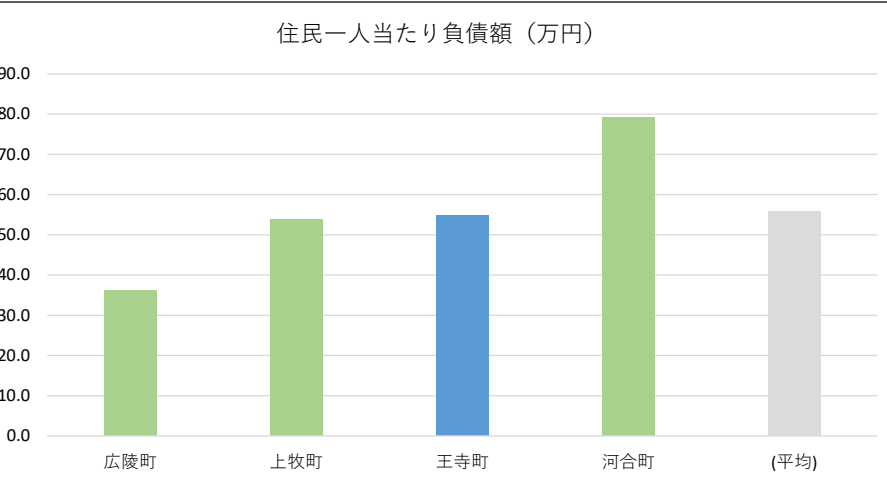
純行政コストを人口で除して、住民一人当たりの行政コストを表す指標。

基本的に低い方が良い指標である。
本指標は低いほど、効率的な行政活動を実施していると言える。本町は類似団体の中で1番高くなっている。物件費等の抑制、さらには財源の確保を課題とし、行政サービスの効率化を図っていく必要がある。

4. 負債の状況

⑦住民一人当たり負債額(万円)

	広陵町	上牧町	王寺町	河合町	(平均)
負債合計(万円)	1,270,725	1,177,986	1,322,351	1,365,946	
人口(人)	35,204	21,910	24,183	17,277	
当該値(万円)	36.1	53.8	54.7	79.1	55.9



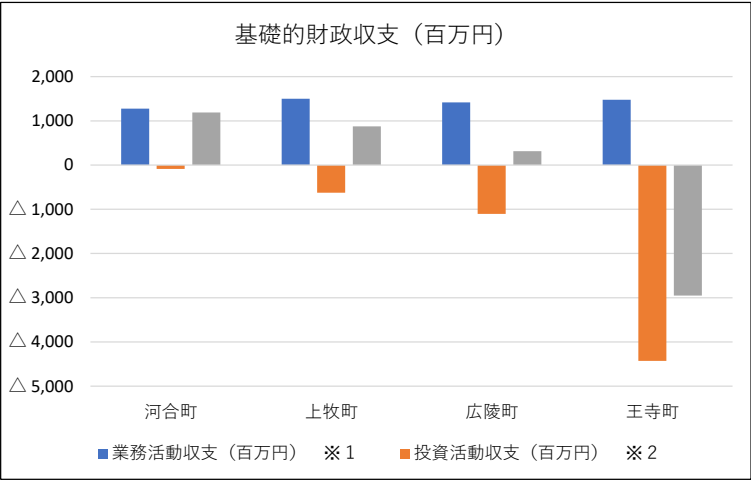
地方公共団体の保有する負債のトック情報(負債額)を住民基本台帳人口で除して、住民一人当たりの負債額を表す指標。

多くの団体で、人口の減少が見込まれ税収減となると思われるので、当該値は低いほうが好ましい。
しかし、公共施設等に対して必要な老朽化対策があるにも関わらず、本指標が類似団体の平均等と比較して低い場合は、必要な投資が行われていない可能性がある。

⑧基礎的財政収支(百万円)

	河合町	上牧町	広陵町	王寺町
業務活動収支(百万円) ※1	1,277	1,500	1,418	1,476
投資活動収支(百万円) ※2	△ 88	△ 624	△ 1,105	△ 4,428
当該値(百万円)	1,189	876	313	△ 2,952

※1 支払利息支出を除く。 ※2 基金積立金支出及び基金取崩収入を除く。



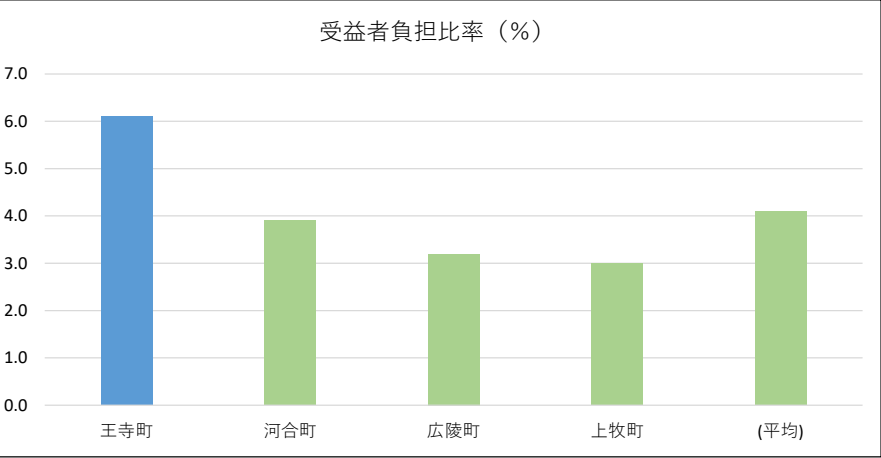
業務活動収支及び投資活動収支の合算額を算出し、その時点で必要とされる政策的経費をその時点の税収等でどれだけまかなえているかを表す指標。

基本的に高い方が良い指標である。ただ一概に赤字が良くないとは言えない。
公共施設の老朽化対策等の必要な投資を行った結果、投資活動収支が赤字になることもある。本指標は、単年度で判断するのではなく、経年で分析する必要がある。慢性的に赤字の場合は注意が必要である。

5. 受益者負担の状況

⑨受益者負担比率(%)

	王寺町	河合町	広陵町	上牧町	(平均)
経常収益(百万円)	561	245	337	224	
経常費用(百万円)	9,262	6,218	10,539	7,566	
当該値(%)	6.1	3.9	3.2	3.0	4.1



経常収益(使用料・手数料などの行政サービスに係る受益者負担の額)に対する 経常費用(行政サービス提供に係る負担)の比率を算出し、行政サービスの提供に対する受益者の直接的な負担の割合を表した指標。

多くの団体で、人口の減少が見込まれ税収減となると思われるので、当該値は高いほうが好ましい。
また、受益者負担に類似するものであっても、分担金や負担金として徴収しているものについては経常収益に含まれないため、必要に応じて、分担金や負担金を加えた比率で分析することが考えられる。

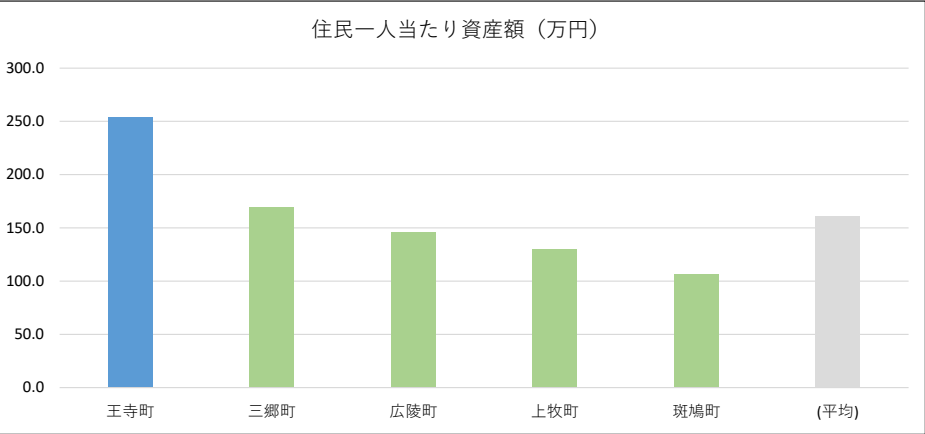
他団体比較(類似団体)

- ・総務省公表の令和3年度統一的な基準による財務書類に関する情報(各種指標)の数値を利用。
- ・奈良県内の団体で王寺町と同じ類団区分【町村Ⅴ－2】の団体を対象とする。(田原本町は非公表のため対象外としている。)

1. 資産の状況

①住民一人当たり資産額(万円)

	王寺町	三郷町	広陵町	上牧町	斑鳩町	(平均)
資産合計(万円)	6,150,727	3,846,208	5,149,495	2,859,752	2,998,781	
人口(人)	24,183	22,750	35,204	21,910	28,249	
当該値(万円)	254.3	169.1	146.3	130.5	106.2	161.3



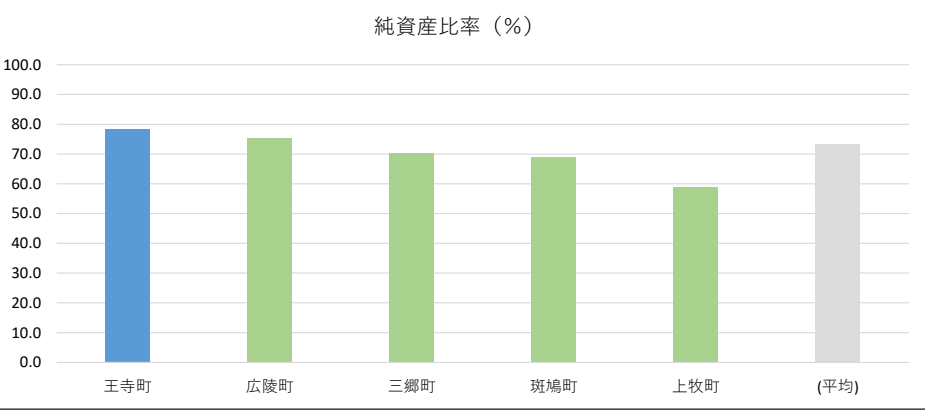
地方公共団体の保有する資産の合計額を人口で除して、住民一人当たりの資産額を表す指標。

一概に高い方が良いとは言えない指標である。資産の構成を見る必要がある。地方公共団体の場合、総資産のおよそ8割が施設やインフラ資産等の固定資産が占めていると言える。これらの資産を維持しながら保有するためには、当然ながら更新費用が必要なため、適正な施設保有量であるか否かは考える必要がある。

2. 資産と負債の比率

④純資産比率(%)

	王寺町	広陵町	三郷町	斑鳩町	上牧町	(平均)
純資産(百万円)	48,284	38,788	27,023	20,696	16,818	
資産合計(百万円)	61,507	51,495	38,462	29,988	28,598	
当該値(%)	78.5	75.3	70.3	69.0	58.8	73.3

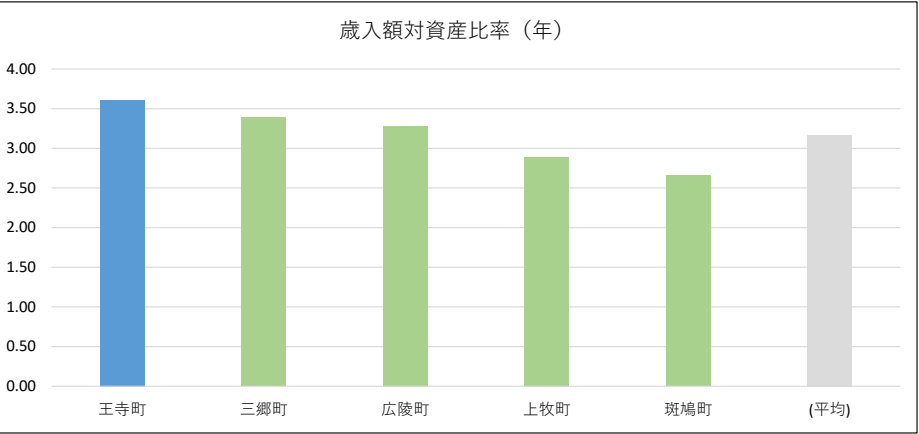


資産のストック情報(資産額)に対する純資産の比率を算出し、保有している有形固定資産等がどの世代の負担により行われたかを表す指標。

基本的に高い方が良い指標である。純資産は過去世代の積み上げ数値となっているため、本指標が高い場合は良い財政を行ってきた結果と言える。多くの団体で、人口の減少が見込まれ税収減が想定されているので、高い水準を保つべきである。

②歳入額対資産比率(年)

	王寺町	三郷町	広陵町	上牧町	斑鳩町	(平均)
資産合計(百万円)	61,507	38,462	51,495	28,598	29,988	
歳入総額(百万円)	17,049	11,355	15,712	9,892	11,281	
当該値(年)	3.61	3.39	3.28	2.89	2.66	3.17



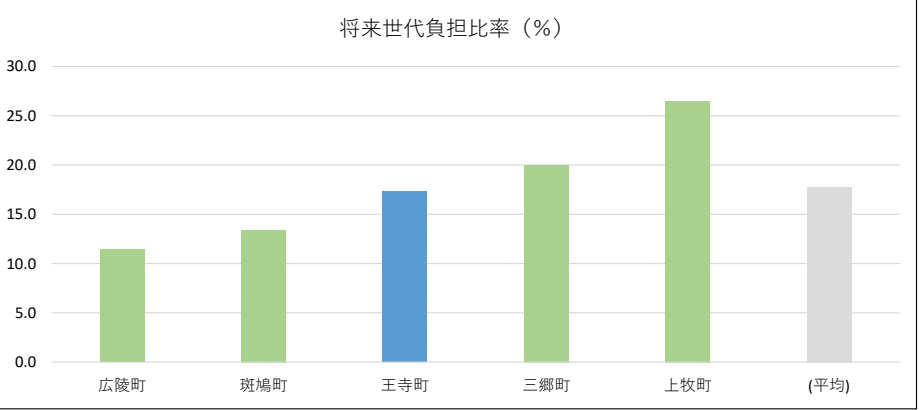
当該年度の歳入総額に対する資産合計の比率を算出し、これまでに形成されたストックとしての資産が、歳入の何年分に相当するかを表す指標。

本指標は「社会資本整備の度合いを示しているため、この比率が高いほど社会資本整備が進んでいると考えられる。」と一般的に定義されている。しかし、一概に高い方が良いとは言えない指標である。資産構成を見たうえで平均値に近い値が一つの目標と言える。歳入規模に対して過度の社会資本整備を行っている場合は、今後の維持負担が大きくなり将来の財政を逼迫する可能性があるので注意が必要である。

⑤将来世代負担比率(%)

	広陵町	斑鳩町	王寺町	三郷町	上牧町	(平均)
地方債残高(百万円) ※1	5,340	3,141	8,496	6,673	6,972	
有形・無形固定資産合計(百万円)	46,913	23,493	49,127	33,325	26,300	
当該値(%)	11.4	13.4	17.3	20.0	26.5	17.7

※1 特例地方債の残高を控除した後の額



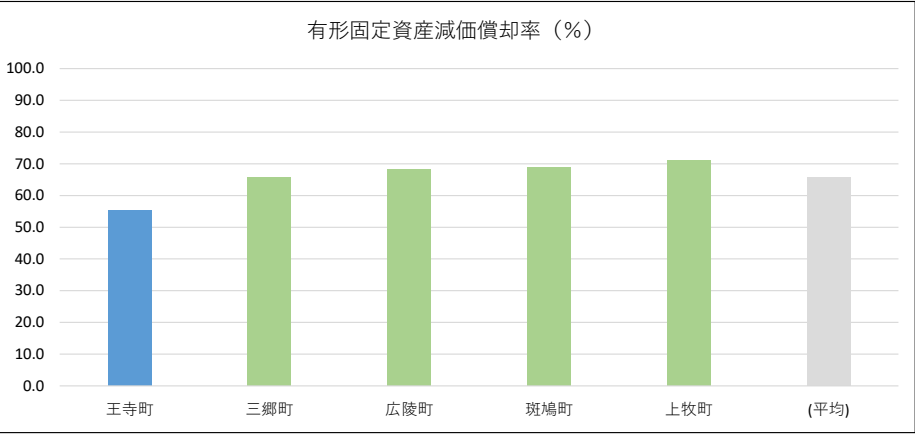
有形固定資産などの社会資本等に対して、財源のうち 将来の 償還等が必要な負債による調達割合を 算出し、社会資本等形成に係る将来世代の負担の程度を 表す指標。

世代間公平性の観点からも考えることも可能だが、多くの団体で、人口の減少が見込まれ税収減となると思われるので、当該値は低いほうが好ましい。

③有形固定資産減価償却率(%)

	王寺町	三郷町	広陵町	斑鳩町	上牧町	(平均)
減価償却累計額(百万円)	26,284	29,432	27,240	23,660	28,099	
有形固定資産(百万円) ※1	47,564	44,734	39,889	34,331	39,602	
当該値(%)	55.3	65.8	68.3	68.9	71.0	65.9

※1 有形固定資産合計－土地等の非償却資産＋減価償却累計額



地方公共団体が保有する有形固定資産のうち、償却資産の取得価格等に対する減価償却累計額の比率を算出し、資産の耐用年数に対して、資産の取得からどの程度経過しているかを表す指標。

基本的に低い方が良い指標である。本町は他団体と比べると1番低い数値となっている。本指標は、庁舎や学校等の建替えや大規模改修が実施出来ていない団体の場合に高くなる。適正な施設保有量を把握し、施設の統廃合等を進めていく必要がある。

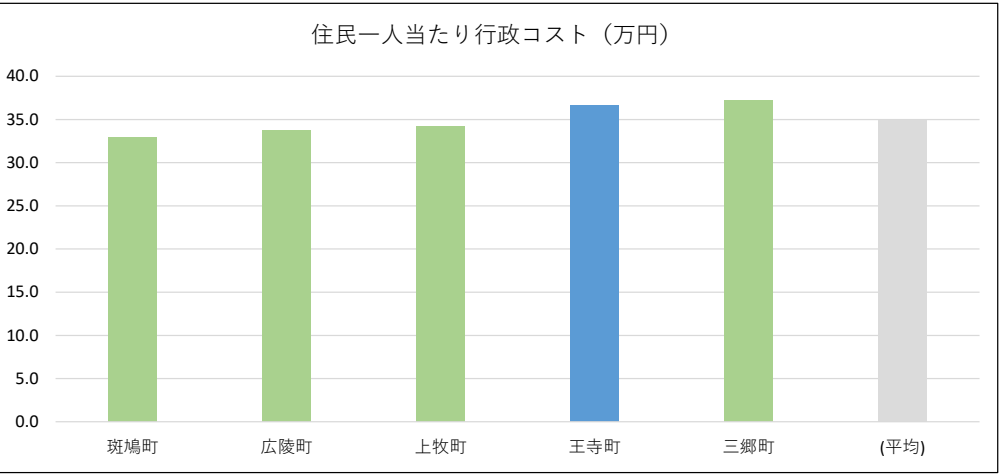
他団体比較(類似団体)

- ・総務省公表の令和3年度統一的な基準による財務書類に関する情報(各種指標)の数値を利用。
- ・奈良県内の団体で王寺町と同じ類団区分【町村Ⅴ－2】の団体を対象とする。(田原本町は非公表のため対象外としている。)

3. 行政コストの状況

⑥住民一人当たり行政コスト(万円)

	斑鳩町	広陵町	上牧町	王寺町	三郷町	(平均)
純行政コスト(万円)	931,780	1,187,714	749,059	883,980	846,818	
人口(人)	28,249	35,204	21,910	24,183	22,750	
当該値(万円)	33.0	33.7	34.2	36.6	37.2	34.9



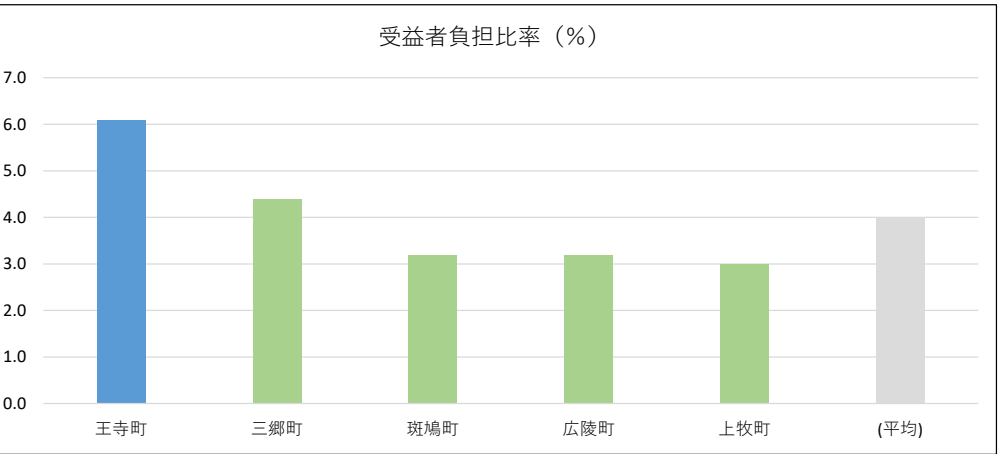
純行政コストを人口で除して、住民一人当たりの行政コストを表す指標。

基本的に低い方が良い指標である。
本指標は低いほど、効率的な行政活動を実施していると言える。本町は他団体と同程度で推移しているが、財源の確保可能性や人口減少の度合いを鑑みて、今後も適切な運営を行っていく必要がある。

5. 受益者負担の状況

⑨受益者負担比率(%)

	王寺町	三郷町	斑鳩町	広陵町	上牧町	(平均)
経常収益(百万円)	561	388	310	337	224	
経常費用(百万円)	9,262	8,851	9,628	10,539	7,566	
当該値(%)	6.1	4.4	3.2	3.2	3.0	4.0



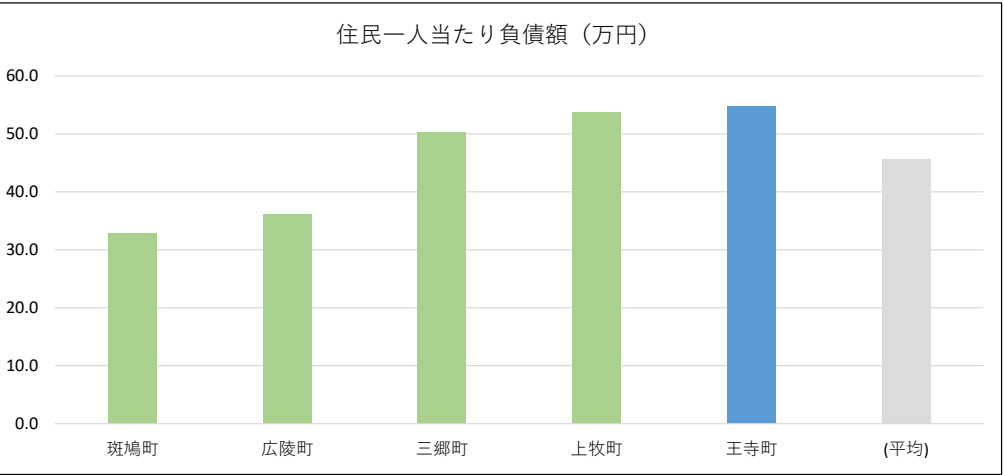
経常収益(使用料・手数料などの行政サービスに係る受益者負担の額)に対する 経常費用(行政サービス提供に係る負担)の比率を算出し、
行政サービスの提供に対する受益者の直接的な負担の割合を表した指標。

多くの団体で、人口の減少が見込まれ税収減と思われるので、当該値は高いほうが好ましい。
また、受益者負担に類似するものであっても、分担金や負担金として徴収しているものについては経常収益に含まれないため、必要に応じて、分担金や負担金を加えた比率で分析することが考えられる。

4. 負債の状況

⑦住民一人当たり負債額(万円)

	斑鳩町	広陵町	三郷町	上牧町	王寺町	(平均)
負債合計(万円)	929,166	1,270,725	1,143,889	1,177,986	1,322,351	
人口(人)	28,249	35,204	22,750	21,910	24,183	
当該値(万円)	32.9	36.1	50.3	53.8	54.7	45.6



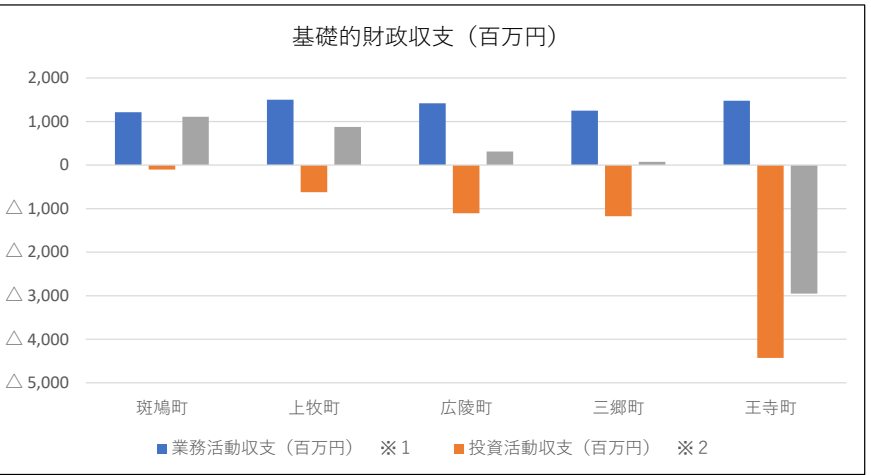
地方公共団体の保有する負債のトック情報(負債額)を住民基本台帳人口で除して、
住民一人当たりの負債額を表す指標。

多くの団体で、人口の減少が見込まれ税収減と思われるので、当該値は低いほうが好ましい。
しかし、公共施設等に対して必要な老朽化対策があるにも関わらず、本指標が類似団体の平均等と比較して低い場合は、必要な投資が行われていない可能性がある。

⑧基礎的財政収支(百万円)

	斑鳩町	上牧町	広陵町	三郷町	王寺町
業務活動収支(百万円) ※1	1,213	1,500	1,418	1,248	1,476
投資活動収支(百万円) ※2	△ 103	△ 624	△ 1,105	△ 1,174	△ 4,428
当該値(百万円)	1,110	876	313	74	△ 2,952

※1 支払利息支出を除く。 ※2 基金積立金支出及び基金取崩収入を除く。



業務活動収支及び投資活動収支の合算額を算出し、その時点で必要とされる政策的経費を
その時点の税収等でどれだけまかなえているかを表す指標。

基本的に高い方が良い指標である。ただ一概に赤字が良くないとは言えない。
公共施設の老朽化対策等の必要な投資を行った結果、投資活動収支が赤字になることもある。本指標は、単年度で判断するのではなく、経年で分析する必要がある。慢性的に赤字の場合は注意が必要である。